

公益社団法人全日本広告連盟
令和3年度 事業計画書

自：令和3年4月1日

至：令和4年3月31日

令和3年度事業計画

全日本広告連盟は、全国37地域の広告協会による全国的な連携のもと活動する全国的・国際的な広告団体として、一般を対象とする講座、シンポジウム及び全国大会等の開催、人材育成活動、日本広告学会及び各地広告協会の公益事業への支援助成、表彰活動等を通して、広告の社会的使命を推進するための各種公益事業を展開する。

なお、当連盟の事務局業務は、正会員の中核協会である公益社団法人東京広告協会との間で平成24年より締結している「事務局業務委託契約書」に則り、同協会へその全てを委託し運営する。

1. 講座・シンポジウム・全国大会等

(1) 夏期広告大学

夏時期に広告実務担当者（非会員、一般・学生を含む。）を対象に地域活性化に役立つ広告知識の習得、技術の向上を目的に開催する。講師は、広告・マーケティングの第一線で実務に取り組んでいるエキスパート。

第32回となる令和3年度は、3地区において公益社団法人全日本広告連盟と各開催地広告協会との共催により開催する。

(2) 秋のシンポジウム

秋に広告関係者のみならず、一般、研究者、学生を対象に、プランニング・キャンペーン戦略や最新事例を紹介する。講師は、広告・マーケティングの第一線で実務に取り組んでいるエキスパート。

第14回目となる令和3年度は、公益社団法人全日本広告連盟と各開催地広告協会との共催により2地区で開催する。

(3) 大会

年一回、全国の広告関係者が一堂に集う全国大会を開催する。広告が社会生活に果たす役割や地域の社会・経済活性化にどう貢献していくか等、広告の社会的使命の促進に資するための記念講演、パネルディスカッションを行い、広く一般、学生にも開放する。費用の財源は、当連盟が負担金を拠出するほか、地域で協賛金を募集する。

令和3年度の第69回全広連大会は、5月20日～22日に「ヤオヨロズの英知でつくる広告新話～山の陰から創造の光を～」の大会テーマで第69回全広連山陰大会組織委員会及び公益社団法人全日本広告連盟の主催により開催する。松江市の島根県民会館を主会場として催すことに加えオンライン参加も可能とし新たに8テーマの分科会を行うほか、全広連各賞の贈賞、パネルディスカッションなどを実施する。

2. 広告倫理等普及啓発

(1) 全広連鈴木三郎助地域キャンペーン大賞

全国各地で展開されたさまざまなキャンペーン活動の中から、最も優れたものを顕彰する。地域活性化に貢献した優れた広告キャンペーンを顕彰することにより、社会的貢献度の高い広告キャンペーンなどが多数生まれることを目的とする。

(2) 全広連鈴木三郎助地域クリエイティブ大賞

地域のクリエイティブ活動の発展を図り、地域活性化に貢献する広告主企業が多数生まれることを目的とする作品賞で、各地広告協会から推薦された優秀なクリエイティブ作品の中から、「最優秀賞」及び「優秀賞」の2賞を選出する。

(3) 全広連日本宣伝賞

広告主（松下賞）、媒体社その他のメディア関係会社及びイベントその他のコンテンツのプロデューサー（正力賞）、広告関連会社（吉田賞）、クリエイター（山名賞）それぞれの立場から広告の社会的使命の促進に係る広告界の向上・発展に尽くし寄与したものを顕彰することによって、フォロワーを生み出し、広告の社会的使命の促進に貢献するものを多数生み出すことを目的とする。また、特別賞として、広告の社会的使命の促進に特別に功労があった個人又は団体を顕彰する。

(4) 鈴木三郎助全広連地域広告大賞

全広連鈴木三郎助地域キャンペーン大賞及び地域クリエイティブ大賞に代わる新たな公益事業として、地域の産業・経済・文化スポーツに関する広告活動を通じて日本各地の地域活性化に貢献した優れた広告コミュニケーション活動に対する顕彰事業を開始する。

3. 支援助成

(1) 助成金（日本広告学会、各地広告協会）

広告に関する学問研究の発展のため、日本広告学会の活動の費用を助成する。また、広告活動の健全な発展を通じた各地の地域活性化のため、各地広告協会の公益的事業の費用の一部を助成する。

(2) 講師派遣

広告活動の健全な発展を通じた、各地の地域活性化のために各地広告協会が行う講演会、セミナー等への各地広告協会からの講師派遣要請に応え、助成金とは別途に講師を選定のうえ派遣する。

4. 連絡交流

(1) 関係官公庁への要望活動

広告に係る法・政策に関して、必要に応じて関係団体と連携・協力して、関係官公庁等に対して要望を提出する。要望を提出した場合には、要望の内容はWEBサイトで公表する。

(2) 関係官公庁への協力活動

関係官公庁から法・政策に関して周知協力の要請を受けた場合には、これに協力し、機関誌及びWEBサイトに掲載するなど周知を図る。

(3) 関係団体との協力、連絡及び交流

関係団体と日常的に情報を交換・交流し、連携を図る。

(4) アジア太平洋広告祭

毎年3月にタイ・パタヤで開催される、アジア最大の広告祭である「アジア太平洋広告祭(ADFEST)」への参加研修団（公募）を派遣するほか、ADFEST内で行われる広告コンテストへの参加応募要項を日本語に訳し、WEBサイト上で公開する。

また、ADFESTと併催される、各国の若手クリエイターを対象とした「Young Lotus Workshop」へ参加の日本代表チームの選考・選出、派遣を行うほか、その選考結果を発表す

る「PreADFEST」を主催する。

さらに、ADFEST終了後には、その概要を紹介する「ADFEST報告会」を、会員及び一般に向け実施する。

(5) アジア広告協会連盟への協力

当連盟が日本を代表し加盟しているアジア広告協会連盟（AFAA）の総会に出席し、アジア各国との関係を強める。

5. 情報発信

(1) 機関誌

機関誌「全広連」（隔月刊）を発行する。記事の内容は、広告、マーケティング、メディアの動向を取り上げ、各界の専門家により解説を行うほか、全国37広告協会の活動報告や各地の生活・経済情勢はじめ、参考となる各種調査資料・結果などを掲載。会員だけでなく非会員にも希望があれば無償で頒布するとともに、WEBサイトに掲載する。

(2) WEBサイト

WEBサイト上で、連盟の基本データの情報公開を行うとともに、講座・シンポジウム・全国大会等の開催・参加案内及び官公庁からの周知依頼の文書等の掲示などを紹介し、その内容をより多くの方々に知ってもらい参加してもらうように努める。

6. 「全広連名鑑」の発行

全広連加盟37広告協会の会員名簿「全広連名鑑」（令和3年版）を継続刊行する。

7. その他各種事業の立案と実施